

さて、こうした本市の持続的な発展と、「自立」と「自活」の実現に繋がる大きな成果を生み出している力は、本市の「総合力」と、それを最大限に発揮させる市民の力、つまり「市民力」であります。

昨年11月、市内の丹原地区を中心に、愛宕柿をはじめとする樹園地が深刻な降ひょう被害に見舞われましたとき、多数のボランティアの皆さんが、被害に遭われた農家の方々に温かい支援の手を差し伸べられました。

私はこうした状況を目の当たりにして、地域住民の自発的な意志が「一つのまち西条」という一体感を醸成して「市民力」を生み出し、さらにその「市民力」が本市の「総合力」と融合して新たな地域全体の底力、すなわち『西条パワー』としてわき出しつつあることを強く実感したのであります。

そこで、新年度の市政の推進に当たりましては、『西条パワー』をキヤッチフレーズに掲げ、その『西条パワー』を生み出すための「人づくり」と「しくみづくり」をテーマとして、「人・モノ・情報・カネ」を引き寄せるような、元気と魅力あふれる都市、さらには、厳しさを増す都市間競争にも耐えうる都市の実現に向けて、勇

気と情熱と行動力、そして長期的な展望をもって、取り組んでまいり決意であります。

「食創館」を拠点とした「人づくり」と「しくみづくり」

その目玉となる事業として、本年4月1日に、全国的にも類例の少ない本格的な食の情報発信拠点「食の創造館（食創館）」をオープンする予定であります。

この「食創館」を拠点としまして、起業家マインドを発揮し、新しい食文化を創造する人材の育成をめざした「人づくり」に取り組みでまいります。

併せて、地域の特産品を素材として生み出された本市オリジナルの食文化を全国に向けて発信し、「西条ブランド」の形成による特産品の高付加価値化、さらには、新しい食料産業を創造するための「しくみづくり」も進めてまいります。

スポーツ交流を核にしたまちづくり

また、新たな政策テーマとし



周桑病院が市民の皆さまから真に信頼される病院として存続できるよう、医師確保を最優先として、全力をあげて取り組んでまいります。

より、地域のスポーツ競技力の向上も図ります。

市立周桑病院の存続に向けて

さて、本市が元気であり続けるためには、何よりも市民が、健康でなければなりません。

しかしながら、全国的に、医師の遍在、地方における医師不足が進行する中、市立周桑病院においても、深刻な医師不足のために診療体制の縮小を余儀なくされております。

私は平素から、周辺地域の住民の方々が不便を被ることがあつてはならないとの思いを強く抱いており、また、地域住民の命と健康を守ることは、私も行政の責務であると深く認識いたしております。周桑病院が地域の拠点病院

て、石鎚山系を代表とする恵まれた自然環境、特に1500メートル級の高地トレーニングに最適な環境や観光資源、また、新たに東予運動公園内に建設を予定しております屋内体育施設を含む、各種体育施設などの豊富な地域資源を連携活用することにより、「スポーツ競技力の向上」「市民の健康増進」を図るとともに、交流人口の拡大による関連産業の振興を目的としまして、スポーツ交流を核にしたまちづくり、「合宿都市構想」の具現化に向けて、鋭意、取り組んでまいります。

本構想では2017年の愛媛国体の開催も視野に入れ、我が国を代表するスポーツ選手や実業団、大学等のスポーツチームの合宿トレーニングにも対応できる総合的なトレーニング環境の整備を図り、競技レベルの高いアスリートと交流する機会を創出することに